

令和元年度「全国高等学校教育改革研究協議会」実施内容

1. 全体像について

(スケジュール)

時間帯	項目	内容	会場
9:30～10:00 (30分)	受付	受付	カルチャー棟 小ホール
10:00～10:10 (10分)	開会行事	開会挨拶, 日程確認等	
10:10～10:50 (40分)	行政説明	講演者: 文部科学省, 内閣府地方創生推進室, 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	
10:50～11:20 (30分)	共通協議題	全体発表 講演者: 石川県立松任高等学校	
11:20～11:30 (10分)		～移動～	—
11:30～12:00 (30分)		グループ別協議	センター棟 各研修室
12:00～13:00 (60分)	昼休憩	～昼休憩～	—
13:00～16:50 (230分)	選択協議題	協議題別発表 (計6ターム)	センター棟 各研修室
16:50～17:00 (10分)	閉会行事	事務連絡	センター棟 各研修室

(議題)

共通協議題	基礎学力の定着に向けた目標設定・授業改善・評価の一体的取組の推進～「高校生のための学びの基礎診断」等の効果的な利活用～
選択協議題A	地域との連携・協働による新しい高等学校づくり
選択協議題B	I C T環境を基盤とした先端技術等を活用した新しい学びの実現
選択協議題C	世界で活躍できるトップレベル人材の育成

2. 共通協議題について

(趣旨)

- 高等学校については、進学率の高まりとともに、生徒の興味・関心、能力、適性等の多様化に対応し、教育内容の多様化が進められてきた一方で、学習意欲が低い者を含め、基礎学力が不足している者も見られるところであり、全ての生徒が共通に身に付けるべき資質・能力を確実に育み、生徒の学習意欲の喚起、学習改善を図ることが、全国的に共通して対応すべき課題として顕在化してきています。
- 文部科学省では、義務教育段階の内容を含めた高校生に求められる基礎学力の確実な習得とそれによる学習意欲の喚起を図るため、高等学校段階における生徒の基礎学力の定着度合いを測定する民間の試験等（測定ツール）を文部科学省が一定の要件に適合するものとして認定する仕組み「高校生のための学びの基礎診断」制度を創設し、高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組を推進しています。
- 本研究協議会では、当該制度を用いた具体的な取組事例等を把握・共有するとともに、基礎学力の定着に向けた目標設定・授業改善・評価の一体的取組の推進に向けた在り方について研究協議するものとします。

(内容)

- 共通協議題は、全体発表・グループ別協議の2つのパートから構成されます。
- 全体発表では、本研究協議会の参加者全員を対象に、「高校生のための学びの基礎診断」制度を効果的に利活用している取組事例等の発表を行います。
- グループ別協議では、本研究協議会の参加者全員を対象に、事前に割り振られた6名程度のグループに分かれた上で、各参加者の所属する組織の取組状況等を共有するとともに、基礎学力の定着に向けた目標設定・授業改善・評価の一体的取組の推進に向けた在り方について研究協議します。

(留意事項)

- 全体発表における発表者は、追って主催者が決定します。
- グループ別協議におけるグループの割振りは、希望調査に基づき主催者が決定します。
- グループ別協議において参考となる資料等の配付を希望する場合には、グループの人数分の資料を予め印刷した上で当日ご持参いただきますようお願いいたします。

(参考)

- ・ 文部科学省ウェブサイト「高校生のための学びの基礎診断」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1393878.htm

3. 選択協議題について

(趣旨)

➤選択協議題A：地域との連携・協働による新しい高等学校づくり

- これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていくという、「社会に開かれた教育課程」の実現が重要となっています。
- 加えて、人口減少時代において、地域への課題意識や貢献意識を持ち、将来、地域ならではの新しい価値を創造し、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材を育成するため、高等学校と地域（市町村、産業界、高等教育機関、社会教育施設等）とが連携・協働して、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することは、教育の質の確保・向上の観点のみならず、地方創生にも資するものとして期待されています。
- 文部科学省では、地域との連携・協働による高等学校教育改革により、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図るため、令和元年度予算において新たに「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」を創設し、高等学校と地域とが協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進しています。また、この他にも、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金、地方創生推進交付金、離島活性化交付金等の関係施策の効果的な活用を推進しています。
- 本研究協議会では、地域との連携・協働による新しい高等学校づくりに関する様々な取組事例等の共有を図り、その在り方への理解を深めることを通じて、これからの高等学校教育改革の推進に資するものとしします。

➤選択協議題B：ICT環境を基盤とした先端技術等を活用した新しい学びの実現

- 少子化や過疎化が進行する中では、生徒数の減少等に伴い小規模校が今後も一層増加していくことが予想されています。小規模校では、個別指導が行いやすいなどの利点がある一方で、社会性の育成に制約が生じることをはじめ、教育指導上の様々な課題を抱えています。こうした課題に対応し、学校教育において遠隔システムを効果的に活用することは、地理的・時間的制約を乗り越え、外部人材の活用や幅広い科目の開設等により学習活動の幅を広げ、教育の質の更なる向上を図っていく上で重要な意義を有しています。
- また、生徒の興味・関心、能力、適性等が多様化し、高等学校が対応すべき課題は多様化・複雑化している中では、多様な生徒の一人一人の個性や置かれている状況に最適な学びを可能としていく、「公正に個別最適化された学び」を進めていくことが重要です。
- 文部科学省では、これまでも「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」を実施し、高等学校において、地理的要因等にとらわれず多様かつ高度な教育を可能とする遠隔教育の導入をはじめとした教育改革の優良事例の普及を図っています。また、令和元年6月25日には「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」を取りまとめ、ICT環境を基盤とした先端技術等を効果的に活用する意義や課題を整理するとともに、今後の取組方策を示してきたところです。
- 本研究協議会では、遠隔教育をはじめとする、ICT環境を基盤とした先端技術等を活用した新しい学びの実現に関する様々な取組事例等の共有を図り、その在り方への理解を

深めることを通じて、これからの高等学校教育改革の推進に資するものとしします。

▶選択協議題C：世界で活躍できるトップレベル人材の育成

- 我が国においては、Society5.0を標榜し、世界規模の課題（SDGs）の解決に貢献するとともに、他国に先駆けて成熟社会が直面する社会課題を解決していくことが求められています。こうした中、これからの新たな社会を牽引し、世界で活躍できるトップレベル人材の育成に向けて、生徒個人の興味・関心・特性等に応じて、より高度な学びを提供する環境を整備していくことが重要となっています。
- 文部科学省では、将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材の育成に向けて、高度かつ多様な科目内容を、生徒個人の興味・関心・特性等に応じて、履修可能とする高校生の学習プログラム・コースとして「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム」を構築することを目指しています。その実現に向けて、その拠点校を全国的に配置していくため、令和元年度予算において新たに「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」を創設し、高等学校と国内外の大学、企業、国際機関等とが連携・協働し、高校生へ高度な学びを提供する仕組み「アドバンスト・ラーニング・ネットワーク」（ALネットワーク）の形成を目指す取組を推進しています。また、この他にも、世界で活躍できるトップレベル人材の育成に向けて、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業、スーパーグローバルハイスクール（SGH）支援事業、スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）支援事業等の関係施策をこれまでも実施してきたところです。
- 本研究協議会では、世界で活躍できるトップレベル人材の育成に関する様々な取組事例等の共有を図り、その在り方への理解を深めることを通じて、これからの高等学校教育改革の推進に資するものとしします。

（内容）

- 選択協議題では、協議題別発表を中心に行います。
- 協議題別発表では、各参加者が事前に選択した協議題に分かれ、当該協議題に関する先導的・効果的な取組事例等の発表を行います。発表は、第1タームから第6タームまでの計6つのタームから構成され、各タームでは、説明15分、質疑15分の計30分を単位として実施します。なお、具体的な時間割・部屋割は後述します。
- 協議題別発表の聴講者は、各研修室で予定される発表の発表者・発表題を基に、自らの興味・関心に応じて聴講する発表を当日自由に選び、当該発表が行われる研修室に参加することが出来ます。ただし、研修室（収容定員は40名）が満席となった場合には、空いている他の研修室に参加いただきますようお願いいたします。

（留意事項）

- 協議題別発表の発表者は、希望調査に基づき主催者が決定します。
- 各都道府県教育委員会におかれましては、選択協議題A～Cの発表枠のうち、原則として、1枠以上は発表いただきますようお願いいたします。また、各都道府県教育委員会の取組内容を発表するに当たっては、原則として、教育次長・課長級の教育委員会における高等学校教育改革の責任者からご発表いただきますようお願いいたします。

- 協議題別発表の各発表には、本協議会の参加者のほか、文部科学省担当官（課長・室長・課長補佐級）も同席した上で、必要に応じて質疑等を行います。

(参考)

➤ 選択協議題A：地域との連携・協働による新しい高等学校づくり

- ・ 文部科学省ウェブサイト「地域との協働による高等学校教育改革の推進」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1407659.htm
- ・ 学校と地域でつくる学びの未来ウェブサイト「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」：
<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/yosan/index.html>
- ・ まち・ひと・しごと創生本部ウェブサイト「地方創生推進交付金」：
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/kouhukin/index.html>
- ・ 内閣府地方創生推進事務局ウェブサイト「企業版ふるさと納税ポータルサイト」：
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/tiikisaisei/kigyous_furusato.html
- ・ 総務省ウェブサイト「地域おこし協力隊・集落支援員・復興支援員・外部専門家・地域おこし企業人」：
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/02gyousei08_03000073.html
- ・ 国土交通省ウェブサイト「離島活性化交付金」：
http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chirit/kokudoseisaku_chirit_fr_000007.html

➤ 選択協議題B：ICT環境を基盤とした先端技術等を活用した新しい学びの実現

- ・ 文部科学省ウェブサイト「全日制・定時制課程の高等学校の遠隔授業」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1358056.htm
- ・ 文部科学省ウェブサイト「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/sesaku/1310116.htm
- ・ 文部科学省ウェブサイト「「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」について」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/other/1411332.htm

➤ 選択協議題C：世界で活躍できるトップレベル人材の育成

- ・ 文部科学省ウェブサイト「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムの構築に向けて」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1412062.htm
- ・ 国立研究開発法人科学技術振興機構ウェブサイト「スーパーサイエンスハイスクール」：
<https://www.jst.go.jp/cpse/ssh/index.html>
- ・ 筑波大学附属学校教育局ウェブサイト「スーパーグローバルハイスクール」：
<http://www.sghc.jp/>
- ・ 文部科学省ウェブサイト「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」：
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/1366335.htm

4. 選択協議題の部屋割・時間割について

(タイムスケジュール)

第1ターム：13時00分～13時30分

第2ターム：13時40分～14時10分

第3ターム：14時20分～14時50分

第4ターム：15時00分～15時30分

第5ターム：15時40分～16時10分

第6ターム：16時20分～16時50分

(時間割・部屋割)

選択協議題A：地域との連携・協働による新しい高等学校づくり

研修室	512	506	507	508	509
第1ターム	発表A-1①	発表A-2①	発表A-3①	発表A-4①	発表A-5①
第2ターム	発表A-1②	発表A-2②	発表A-3②	発表A-4②	発表A-5②
第3ターム	発表A-1③	発表A-2③	発表A-3③	発表A-4③	発表A-5③
第4ターム	発表A-1④	発表A-2④	発表A-3④	発表A-4④	発表A-5④
第5ターム	発表A-1⑤	発表A-2⑤	発表A-3⑤	発表A-4⑤	発表A-5⑤
第6ターム	発表A-1⑥	発表A-2⑥	発表A-3⑥	発表A-4⑥	発表A-5⑥

選択協議題B：ICT環境を基盤とした先端技術等を活用した新しい学びの実現

研修室	502	503
第1ターム	発表B-1①	発表B-2①
第2ターム	発表B-1②	発表B-2②
第3ターム	発表B-1③	発表B-2③
第4ターム	発表B-1④	発表B-2④
第5ターム	発表B-1⑤	発表B-2⑤
第6ターム	発表B-1⑥	発表B-2⑥

選択協議題C：世界で活躍できるトップレベル人材の育成

研修室	510	504	5A
第1ターム	発表C-1①	発表C-2①	発表C-3①
第2ターム	発表C-1②	発表C-2②	発表C-3②
第3ターム	発表C-1③	発表C-2③	発表C-3③
第4ターム	発表C-1④	発表C-2④	発表C-3④
第5ターム	発表C-1⑤	発表C-2⑤	発表C-3⑤
第6ターム	発表C-1⑥	発表C-2⑥	発表C-3⑥

※「発表A-1①」は、文部科学省ウェブサイト「共通協議題、選択協議題」ページの「A-1 第1ターム」を示しています。